B5FJ-5021-01

ここが変わった！ Windows Vista

Windows Vistaはこんな顔です

ここが変わった！これが新機能！

検索を使いこなそう！

こんなところに気をつけて！

より視覚的に操作できるデスクトップ！

Windows Vistaはこんな顔です

タイトルバー Premium

Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business（••▶P.17）では、Windows Aero（ウインドウズ エアロ）に設定すると背景が透けて見えます。

アドレスバー

開いているフォルダの場所を表示します。上位の階層や別のフォルダにも簡単に移動できます。

アイコン

ファイルの内容がアイコンで表示されます。フォルダアイコンは、フォルダの中身が表示されます。

検索ボックス

ファイルやソフトウェアの名前を入力すると、上に検索結果が表示されます。使いたいソフトウェアもすぐに探せます。

スタートボタン

これがスタートボタン。ソフトウェアの起動や検索などを、このボタンから始めます。

クイック起動

よく使うソフトウェアやファイルをここに登録しておくと、すばやく起動できます。

検索ボックス

フォルダ内にあるファイルを検索できます。サブフォルダの中も検索できます。

ヘルプボタン

使い方がわからなくなったらこのボタンをクリック。

サイドバー

時計やカレンダーなどの小道具（ガジェット）を常に表示しておけます。

詳細ペイン

ファイルをポイントすると、大きさやサイズなどプロパティの一部が表示されます。

タスクバー

Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business（••▶ P.17）では、Windows Aeroに設定すると、タスクバーをポイントするだけでウィンドウの内容がわかります。

電源ボタン

クリックすると省電力機能の一つであるスリープ状態になります。

電源を切るときは、ここをクリックして「シャットダウン」を選びます。

※画面はWindows Vista Home Premiumのものです。

ここが変わった！これが新機能！

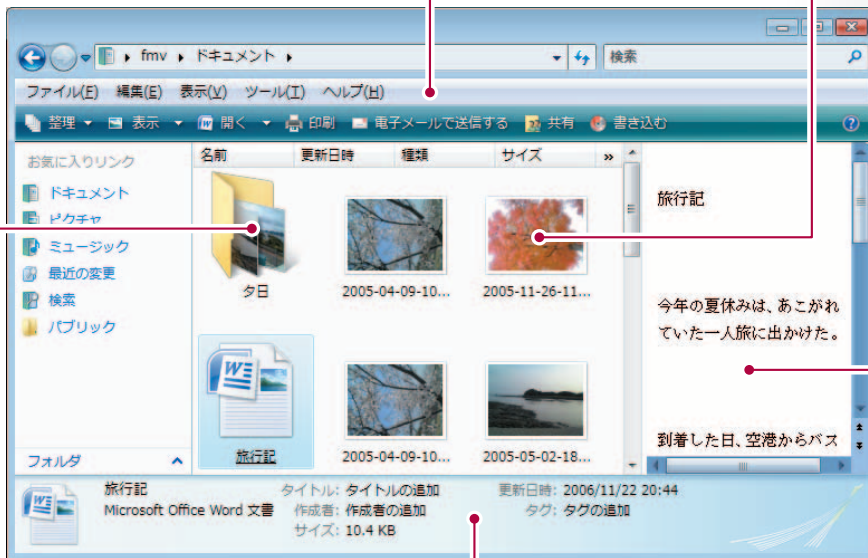
1 フォルダウィンドウが変わった

フォルダウィンドウも大きく変わりました。

デザインが変わった

フォルダウィンドウのデザインが変わりました。フォルダアイコンは中身がわかるようになり、ファイルのプレビューやプロパティなどの情報を1つの画面で表示できるようになりました。

メニューバーは、コマンドバーの「整理」をクリックして、「レイアウト」から「メニューバー」を選ぶと表示されるようになります。

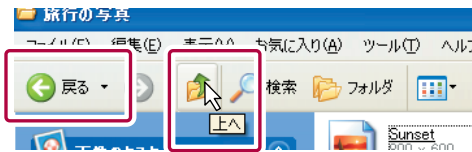
アイコンにファイルの中身が表示されます。

フォルダアイコンにはフォルダに入っているファイルの一部が表示されます。フォルダを開かなくても、どのようなファイルが入っているかわかります。

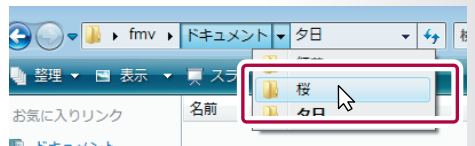
詳細ペインには選択したファイルのサイズや更新日時などの簡単なプロパティが表示されます。タグを付けたりタイトルなどを入力できます。入力できる項目はファイルの種類によって変わります。

コマンドバーの「整理」→「レイアウト」で「プレビューペイン」を選んでおくと、ファイルを選択したときに、右側にプレビューが表示されます。

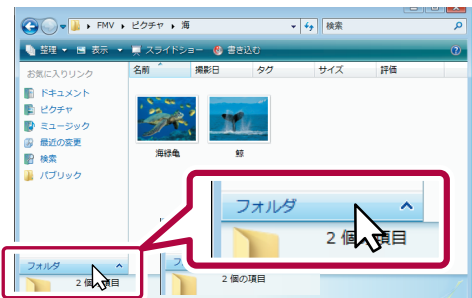
別フォルダにもすぐに移動

アドレスバーを使って、フォルダの移動が簡単にできるようになりました。

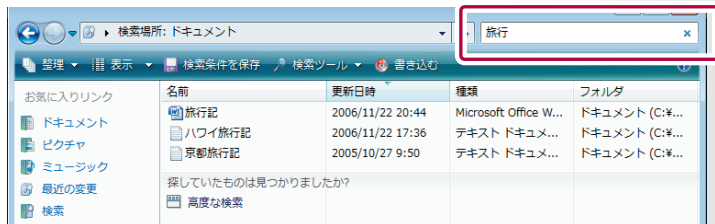
XP Windows XPでは、上の階層のフォルダを開きたいときは、 や 戻る などで、1つずつフォルダの階層を移動していました。

Vista Windows Vistaでは、アドレスバーに表示されている目的のフォルダをクリックすれば移動できます。何階層か上のフォルダに移動するときでも1回のクリックで済みます。

アドレスバーに表示されているフォルダの中にある、別のフォルダに移動するときでも、フォルダの横にある ▸ をクリックして、開きたいフォルダを選ぶだけです。

ツリー表示もできる

フォルダウィンドウの左側に、フォルダ構造をツリー表示することもできます。

フォルダウィンドウ左下の「フォルダ」をクリックします。

フォルダ構造がツリー表示されます。

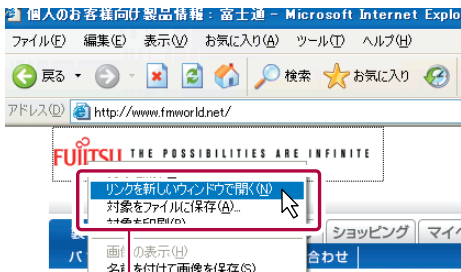
検索ボックスがついた

フォルダにファイルがたくさんあるときも、検索ボックスに探したいファイル名の一部や、ファイル内の文字を入力するだけで、すぐに探すことができます。サブフォルダの中も探せます。（••▶P.14）

Internet Explorerとメールソフトが変わった

Internet Explorer7が搭載されて、ますます便利になりました。メールソフトはOutlook ExpressからWindows メールに変わりました。

タブを使えばページの切り替えが簡単

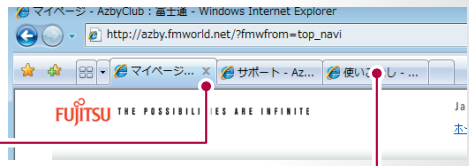
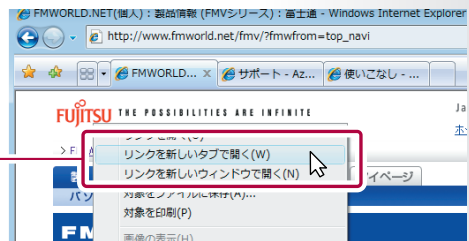
タブを使っていくつものページを同じウィンドウ内に開くことができます。

IE6 今見ているページはそのままで新しいページを開きたいとき、これまでは別に新しいウィンドウを開いていました。

右クリックしてメニューから選びます。

ここが変わった!

IE7 Internet Explorer7では、前のページを残したまま、同じウィンドウに新しいページを開くことができます。開いたページはタブで切り替えて見ることができます。

右クリックしてメニューから「新しいタブで開く」を選ぶか、リンクの上でマウスのスクロールボタンをクリックします。

ページを閉じるときは、タブにある閉じるボタンをクリックします。

ここに開いたページのタブが追加されます。タブをクリックして見たいページを切り替えます。

印刷が変わった

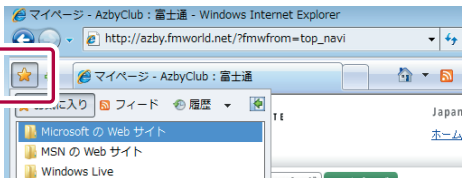
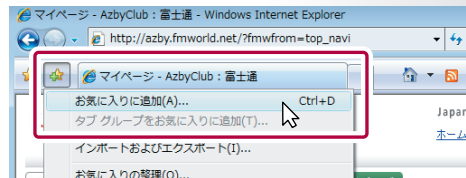
印刷機能もパワーアップ。画面が切れてしまわないように、1ページ内に縮小して印刷できるようになりました。

IE6

IE7

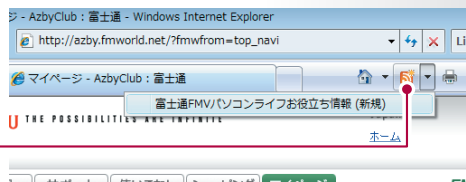
お気に入りセンター

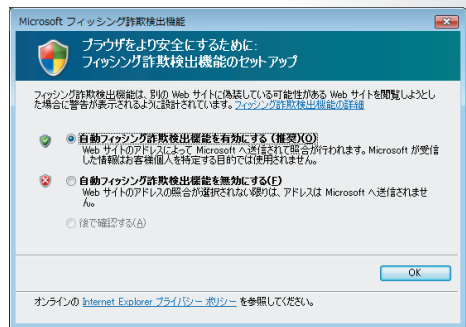
「お気に入りセンター」で、お気に入りや、RSSフィード、履歴を表示できます。

をクリックすると、左側にお気に入りセンターが表示されます。

お気に入りを登録したいときは、をクリックして「お気に入りに追加」を選びます。

新機能 RSSフィードアイコンが点灯しているページは「フィード」に登録できます。

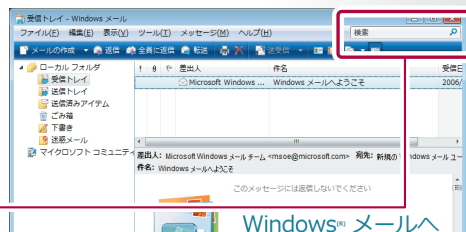
よく見るブログやニュースのサイトを「フィード」に登録しておけば、いちいちサイトを表示してチェックしなくても、ブログが更新されているか、最新のニュースが配信されたかを知ることができます。

をクリックして登録したいフィードを選び、表示された画面で「このフィードを購読する」を選びます。

ここが になるページが登録できます。

新機能 フィッシング詐欺ページの検出も可能に

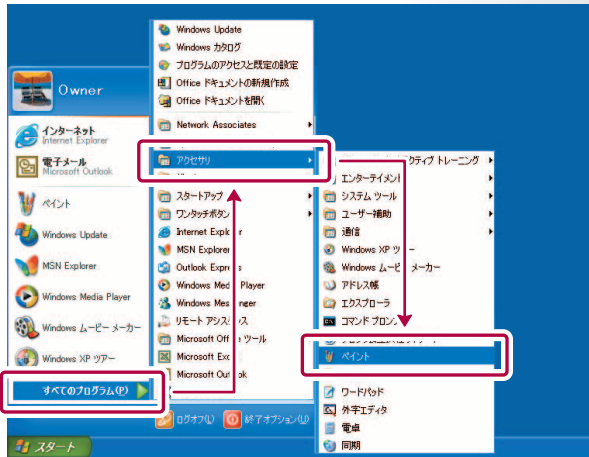
フィッシング詐欺検出機能がつきました。この機能を有効にしておくと、フィッシング詐欺の可能性があるページを表示しようとしたときに警告が表示されます。

新しいメール機能

Outlook Expressの機能を受け継ぎ、さらに迷惑メールフィルタやフィッシングフィルタなど、セキュリティ機能が強化されました。

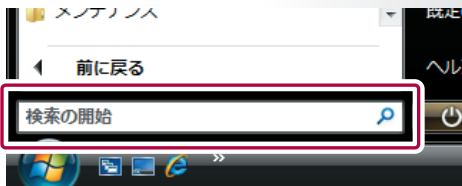
検索ボックスがついて、メールの検索も便利になっています。

3 スタートメニューが変わった

スタートメニューの役割は変わっていませんが、メニューの操作方法は大きく変わりました。

「すべてのプログラム」は画面切り替わり式に

XP Windows XPでは「すべてのプログラム」をクリックすると、右側にメニューが表示されていきました。

Vista Windows Vistaではメニューの画面が切り替わって表示されます。フォルダの中身も右側ではなく、下側に展開されて表示されます。

検索ボックスがついた

ソフトウェアやファイルの起動、コントロールパネルで設定する項目などは、検索ボックスにキーワードを入力して、簡単に検索できます。(••▶P.12)

4 電源ボタンでスリープ

Windows Vistaでは、電源ボタンをクリックすると、スリープ状態になります。

電源ボタンクリックでスリープ状態に

XP Windows XPでは をクリックすると、終了メニューが表示されました。

Vista Windows Vistaでは をクリックすると、いきなり画面が真っ暗になります。

電源ボタンをクリックしても電源が切れるわけではありません。スリープ状態になったのです。 をクリックすると、「シャットダウン」や「再起動」「ログオフ」などが選べます。

スリープ状態とは、パソコンの状態がメモリとハードディスクに保存され、パソコンが停止した状態のことです。パソコンの電源は切れていませんが、電力の消費は大幅に少なくなります。次にパソコンを使うときに、すばやく元の画面を表示できます。

5 時計や付箋などを常に表示できる

画面の右サイドまたは左サイドに、サイドバーを表示しておけるようになりました。

よく使う小道具はWindowsサイドバーに

Windowsサイドバーには、時計やRSSフィードなど、よく使う小道具を置くことができます。これらはガジェットと呼びます。

ガジェットには常に最新の情報が表示されます。例えばRSSフィードを置いておくと、情報が更新されていないかどうか、いちいちブラウザを起動してチェックしなくても済みます。

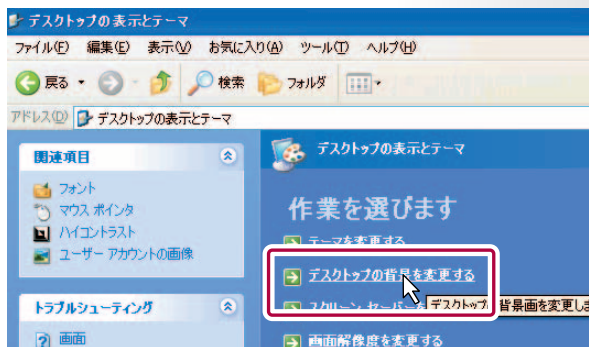
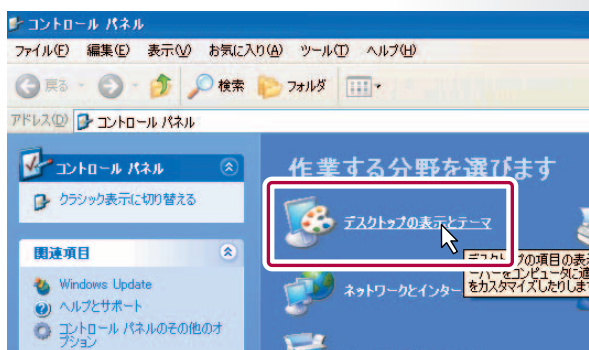
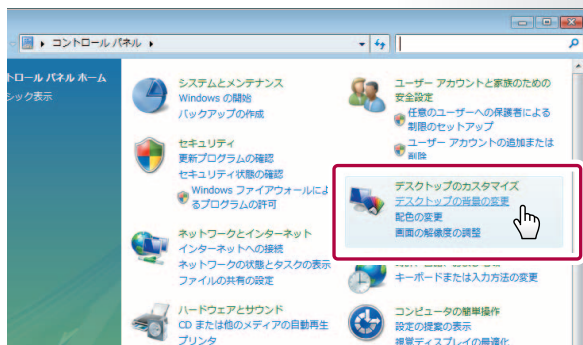
Windowsサイドバーを閉じるには、Windowsサイドバーの何もないところで右クリックし、表示されたメニューから「サイドバーを閉じる」をクリックします。

6 コントロールパネルが変わった

コントロールパネルは、目的別に表示されるようになりました。

やりたいことから探せるようになった

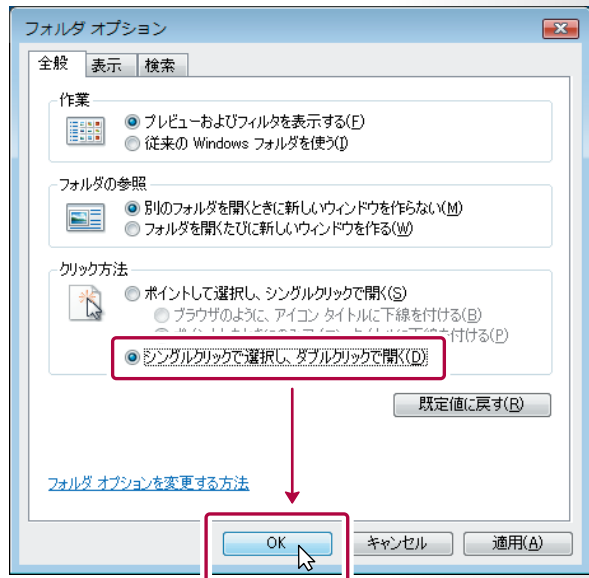
「更新プログラムの確認」や「デスクトップの背景の変更」など、よく使う機能は「コントロールパネル」に目的別にリンクが表示されています。ここに表示されていない機能は各項目の見出し（緑字）をクリックすれば表示されます。

XP 例えばWindows XPでは、デスクトップの背景を変えたいときは、まず「デスクトップの表示とテーマ」のカテゴリを選んでから、「デスクトップの背景を変更する」を選んでいました。

Vista Windows Vistaでは、コントロールパネルのメニューに「デスクトップの背景の変更」があるので、何の設定を変えたいのかという目的から探せるようになりました。

クリックの設定を変更するときは

例えば、クリックの設定をシングルクリックからダブルクリックに変えたいときは、次のように操作します。

①「コントロールパネル」→「デスクトップのカスタマイズ」→「シングルクリックまたはダブルクリックの使用の指定」の順にクリックします。

コントロールパネルの検索ボックスに、直接「クリック」と入力して検索することもできます。

②「フォルダオプション」ウィンドウの「クリック方法」で「シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く」の ◯ をクリックして ◉ にして「OK」をクリックします。

これで設定は終了です。

7 家族で安心して使うための制御機能がついた

ユーザーアカウント制御機能が新しく搭載されました。ユーザーアカウントには「管理者」と「標準」の２種類の権限があります。新しくアカウントを作るときは、どちらかの権限を設定します。

パソコンを家族で使うときは

パソコンを家族何人かで使うときは、「fujio」「fujiko」「michio」のように、使う人（ユーザー）ごとにアカウントを作っておくと便利です。

パソコンの使い方を制限したいときは、アカウントを「標準」に設定します。

新機能 「管理者」は強い権限をもっている

「管理者」はパソコンの設定を変更したり、他の人がパソコンを使うときの動作を制限したりできます。「標準」よりも強い権限を持っています。

「標準」権限の人は、インターネットや電子メールを使ったり、インストールされているソフトウェアを使ったりなどはできますが、ソフトウェアをインストールしたり、パソコンの設定を変えるには「管理者」権限の人の許可が必要です。

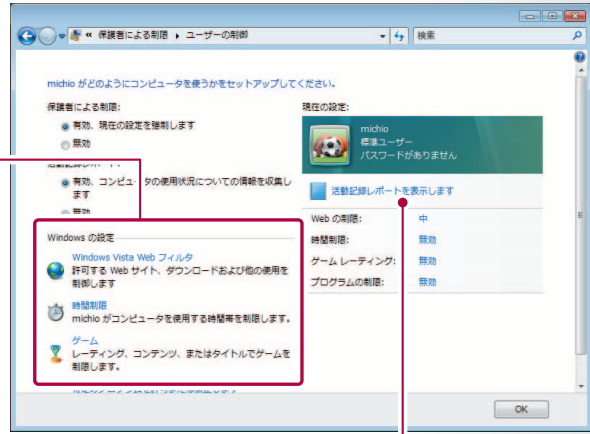
管理者がパスワードを設定しているときは、そのパスワードを入力しないと操作できません。

「保護者による制限」ができる

※Windows Vista Businessを除く

「保護者による制限」の機能を使うと、「管理者」権限の人は「標準」権限の人のパソコンの使い方を制限することができます。

例えば、夜11時を過ぎるとパソコンが使えないようにしたり、特定のWebサイトへのアクセスを禁止したり、使えるゲームを限定したりできます。

特定の時間に自動で実行されるソフトウェアは、使用不可の時間帯では実行されない場合がありますのでご注意ください。

また、「標準」権限の人がどのソフトウェアを使ったか、どのWebサイトを見たかなどを、履歴として見ることができます。

8 Windowsの情報は「ウェルカムセンター」で

「ウェルカムセンター」には、Windows Vistaの情報が集まっています。Windows Vistaの機能を増やしたり、設定を変更したいとき、お使いのパソコンの詳細情報を知りたいときなどに使います。

新機能 パソコンの情報を見るときは「ウェルカムセンター」

「ウェルカムセンター」は、（スタート）→「ウェルカムセンター」の順にクリックして表示します。

お使いのパソコンについて知りたいときは、「ウェルカムセンター」の「コンピュータの詳細を表示します」をクリックして見ることができます。

ここのチェックマークを付けると、パソコンが起動したときに自動的に「ウェルカムセンター」が表示されます。

Windows Vistaについて知りたいときは、「Windows Vistaの最新機能の紹介」をクリックすると、Windows Vistaで新しく加わった機能の解説を見ることができます。

検索を使いこなそう!

1 スタートメニューの検索を使いこなそう

スタートメニューには新しく検索ボックスがつきました。ソフトウェアやファイルを検索できます。

ソフトウェアを起動するときも検索が使える

ソフトウェアを起動するとき、「スタート」メニューの「すべてのプログラム」をクリックして、表示されたメニューからソフトウェアのフォルダをクリックして、起動したいソフトウェアをクリックして･･･という手間はいりません。

検索ボックスに起動したいソフトウェアの名前の一部を入れると、検索結果が上に表示されます。あとは、表示されたソフトウェアをクリックするだけです。

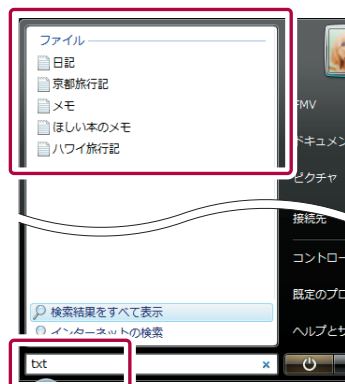
例えば「ペイント」を起動したいときも、検索ボックスに「ペイント」と入力すれば･･･

上に「ペイント」のアイコンが表示されます。あとはこれをクリックするだけ。

ファイルを開くときも検索を使おう

ファイルがたくさんありすぎて、開きたいファイルがなかなか探せないというときも、検索ボックスが使えます。

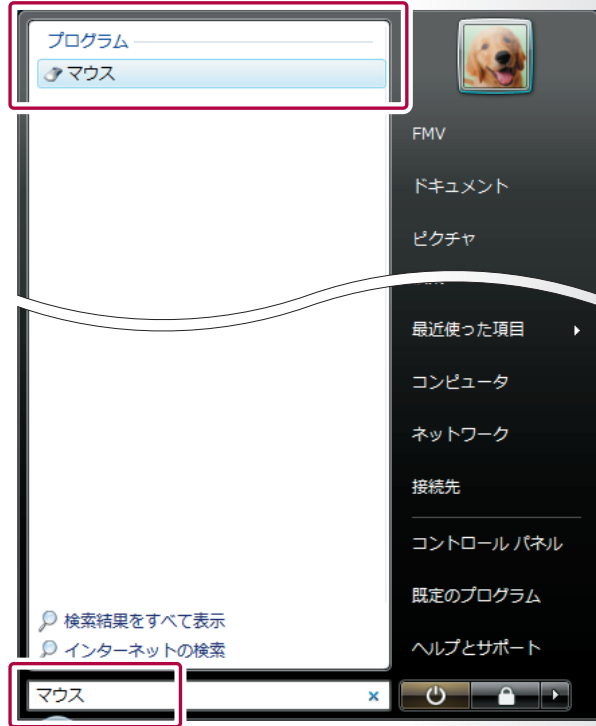
検索ボックスに、開きたいファイルの名前の一部や、ファイルの種類、写真の撮影日、文章の一部･･･ 何でもいいので手がかりを入力してみてください。検索結果が上に表示されます。

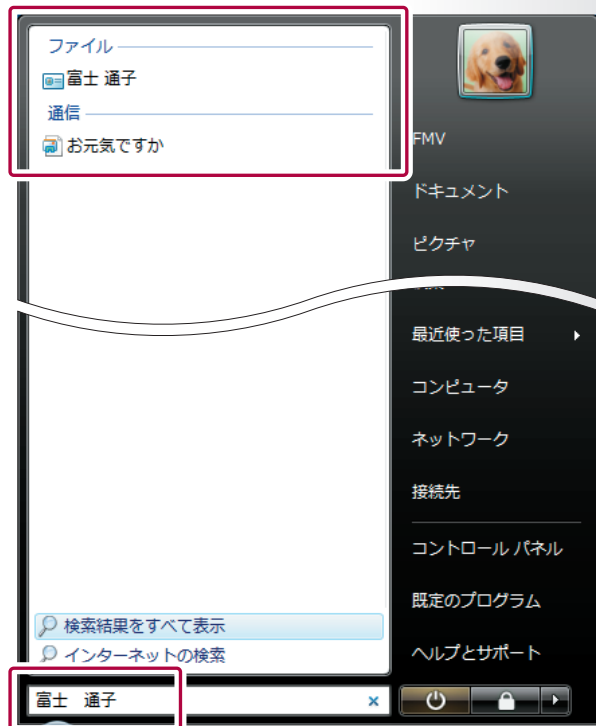
ファイルの“名前”の一部で検索

ファイルの“種類”で検索

写真の“撮影日”で検索

他にもこんなものが検索できる

パソコンの設定を変えたいときも検索が使えます。

例えばマウスの設定を変えたいときに、検索ボックスに「マウス」と入力すれば、検索結果にマウスのプロパティが表示されます。

メールの検索もできます。

例えば、富士　通子さんとやりとりしたメールを検索したいときは、検索ボックスに「富士　通子」と入力すれば検索結果に富士　通子さんからのメールや、富士　道子さん宛のメール、アドレス帳の「富士　通子」さんのプロパティなどが表示されます。

2 フォルダウィンドウの検索を使いこなそう

フォルダウィンドウにも検索ボックスがあります。デジタルカメラで撮った写真や音楽ファイルなど、個人用フォルダにあるファイルをすばやく検索できます。

名前を入力して探す

ファイルの名前の一部を入力すると、当てはまるファイルが検索されます。

例えば、「海岸の舟」という名前のファイルを探したいときは、「海岸」と入力すれば、当てはまるファイルが表示されます。

さらに「の」「舟」と入力していけば、入力した文字のとおりに絞り込まれていきます。

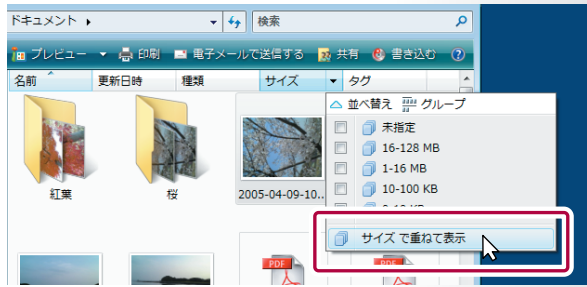
他にもこんなキーワードが使える

ファイル名の他に、ファイルの中に書かれているテキストの文章、ファイルの作成者、ファイルの種類などもキーワードとして使えます。

例えば探したいファイルがPDFファイルだった場合は、検索ボックスに「PDF」と入力すれば、検索結果としてPDFファイルが表示されます。

ファイルをグループに分けられる

フォルダの中にあるファイルは、グループに分けることができます。

例えば、ファイルの大きさでグループ分けしたいときは、見出しの「サイズ」の横にある ▾ をクリックし、表示されたメニューから「サイズで重ねて表示」をクリックします。

すると、ファイルのサイズによってグループ分けされ、仮のフォルダにまとめられます。

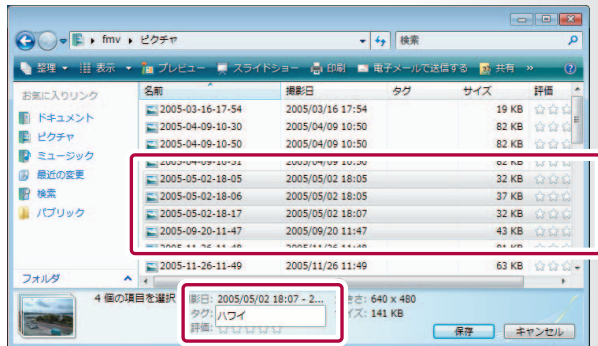
他にも、名前や撮影日、タグなど、フォルダの見出しに応じたグループに分けられます。見出しはフォルダによって変わります。

タグをつけて検索しやすくする

デジタルカメラの写真は自動的に英数字のファイル名がつくことが多いため、ファイル名だけではどの写真なのかわからなくなってしまう場合があります。そのようなときは、ファイルにタグをつけておけば、整理しやすくなります。

例えば、ハワイに旅行したときの写真に「ハワイ」というタグをつけておけば、検索ボックスに「ハワイ」と入力するだけで、ハワイ旅行の写真だけ表示できます。

タグをつけたいファイルを選んで、詳細ペインの「タグ」をクリックし、「ハワイ」と入力して保存するだけで、選んだファイルすべてに「ハワイ」というタグが付きます。

写真だけでなく、旅行記や日程表などの文書にも「ハワイ」というタグをつけておけば、専用のフォルダを作って管理しなくても、検索ボックスに「ハワイ」というキーワードを入力するだけで、いつでもハワイ旅行に関するファイルだけを表示できます。

このように、検索を使いこなせば、ファイルの保存場所を気にすることなく、簡単に目的のファイルが探せるようになります。

こんなところに気をつけて！

1 Windows Vistaを使うときはここに注意！

Windows Vistaをお使いになるときに気をつけなければならないいくつかの点について説明します。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されます

Windows　Vistaではセキュリティがより強化されました。パソコンの設定を変えたり、ソフトウェアをインストールや削除したり、特定のファイルを実行したりするときは、実行してもよいか管理者の許可を求める画面が表示されます。

パソコンを使っている人のアカウントが「管理者」の場合は、そのまま続行するかキャンセルするかを選びます。
パソコンを使っている人のアカウントが「標準」の場合は、実行するには「管理者」のアカウントで設定したパスワードを入力しなければなりません。

ソフトウェアをインストールするときは

Windows Vistaに対応していないソフトウェアは、正しく動作しない可能性があります。
ソフトウェアをインストールする前にWindows Vistaに対応しているか確認してください。

使える文字が増えて一部の字形も変わりました

葛飾区の「葛」や味噌の「噌」など特定の文字は、Windows　XPのシステムフォント（OSが使用するフォント）では、「葛」「噌」となり、正しく表示できませんでした。
Windows VistaではJIS X 0213:2004に対応し、これらの文字も正しく表示されます。また、使える文字数も増えています。

ただし、Windows Vistaで作成した文書やメールを、Windows XPなどJIS X 0213:2004に対応していないOSで表示した場合は、変更された字形や新しく増えた文字は正しく表示されません。メールを送るときなどはご注意ください。
また、Windows Vistaで動作するソフトウェアにも、JIS X 0213:2004に対応していない独自のフォントを使用するものがあります。この場合も新しい文字を表示できませんので、ご注意ください。
詳しくは『トラブル解決ガイド』をご覧ください。

製品およびこのマニュアルについて

Windows Vistaの種類について

種　類	概　要
Windows Vista Home Basic	Windows Vistaの基本的な機能が使えます。
Windows Vista Home Premium	基本的な機能に加えて、視覚効果の高いWindows Aeroの機能や、 Windows Media Centerの機能などが使えます。
Windows Vista Business	ビジネスに求められるさまざまな機能が使えます。
Windows Vista Ultimate	Home Premiumの機能に加え、ビジネス向けの機能も備えた、 Windows Vistaの最上位エディションです。

お使いのWindows Vistaの種類は、「ウェルカムセンター」で確認できます。「ウェルカムセンター」は（スタート）→「ウェルカムセンター」の順にクリックすると表示されます。
このマニュアル内では、Windows Vista Home Premium以上での機能には、を付けて表しています。

このマニュアルの記載内容について

このマニュアルに記載している画面は一例です。お使いの機種やモデルによって、画面が異なることがあります。また、画面は開発中のものです。内容については予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承願います。ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">このマニュアルでの表記</th></tr>
<tr><td>Windows Vista® Ultimate</td><td rowspan="4">Windows</td><td rowspan="4">Windows Vista</td><td>Windows Vista Ultimate</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Business</td><td>Windows Vista Business</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Premium</td><td>Windows Vista Home Premium</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Basic</td><td>Windows Vista Home Basic</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td><td colspan="3">Windows XP</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td colspan="3">Windows XP</td></tr>
<tr><td>Windows® Internet Explorer®</td><td colspan="3">Internet Explorer</td></tr>
</table>

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。